



教職学一体でキャリア支援を行う ピア・サポートチーム

-過去20年の取り組みを振り返って-

創価大学キャリアセンター キャリア・就職支援課
副課長 正木 正城

Discover your potential

SOKA University

大学概要

本学の概要

■ 建学の精神

- ・人間教育の最高学府たれ
- ・新しき大文化建設の揺籃たれ
- ・人類の平和を守るフォートレス（要塞）たれ

■ 設立、キャンパス所在地

1971年設立、東京都八王子市

■ 基本理念

「学生第一の大学」

■ 組織

8学部10学科、大学院6研究科、
法科大学院、教職大学院、女子短期大学

■ 人数

学部生：5,618名

大学院生（専門職大学院含む）：428名

専任教員：325名 専任職員数：234名

※2025/5/1時点



自己紹介

氏名：正木 正城（まさき まさしろ）

所属：キャリアセンター キャリア・就職支援課 副課長

出身：東京都江戸川区

経歴：創価大学卒業後、管理部、アドミッションズセンター
学習支援課を経て2023年よりキャリアセンターへ異動

業務：学生の就職支援業務、個別相談、地方UIターン、
障がい学生の個別相談、企業開拓等

資格： 2019年1月 キャリアコンサルタント(国家資格)



本日のアジェンダ



1. ピア・サポートチーム結成の経緯・歴史

2. キャリア支援全体の中でのピア・サポートチームの位置づけ

3. CSS（キャリアサポートスタッフ）とRSS（リクルートサポートスタッフ）の役割の違いや、具体的な取り組み

4. 卒業後の大学への関わり

5. 効果や課題 ・今後の展望

アジェンダ 1

1. ピア・サポートチーム結成の経緯・歴史

2. キャリア支援全体の中でのピア・サポートチームの位置づけ

3. CSS（キャリアサポートスタッフ）とRSS（リクルートサポートスタッフ）の役割の違いや、具体的な取り組み

4. 卒業後の大学への関わり

5. 効果や課題 ・今後の展望

開学から続く 学生主体の 伝統

1970年初頭：国内の消費者物価指数が急上昇 → 私立大学の多くが学費改定を実施。

1972年：本学も学費改訂を検討し、他大学よりも安い値上げ幅で学費改定を決定するが当時在学する 1、2 年生より反発の声が上がる。

理由は「学生第一」を掲げる創価大学において大学運営の根幹に関わる学費改定に関する議論に学生が参加することなく一方的に決定したことに対するものだった。

→学生からの声を受けて当時の理事会は学費改定を白紙撤回。

1973年：物価上昇はその後も続き、開学 3 年目、学生から学費改定を検討する動きが起こる。

大学側は財政に関する答申によって経常的な赤字が年々膨らんでいることを学生に提示し、その内容を検討した学生が臨時学生大会による決議で大多数の賛成のもと、学費値上げを決議。

1974年：教員・職員・学生・理事会の四者による「全学協議会」が、「学生参加」の理念を実現。大学の重要問題を協議する機構として発足。協議会に意思決定権はないが、全学協議会で検討・提案されたことは、理事会や各学部教授会などで審議、反映される。

現在：発足から約50年を経たが、協議会は途切れることなく、継続して大学の重要事項を協議し、通算380回開催してきている。

設置当初の国内の動き

中央教育審議会答申「初等中等教育と高等教育との接続の改善について」（平成11年12月）において「キャリア教育」が文言として初めて登場。

第6章 学校教育と職業生活との接続

新規学卒者のフリーター志向が広がり、高等学校卒業者では、進学も就職もしていないことが明らかな者の占める割合が約9%に達し、また、新規学卒者の就職後3年以内の離職も、労働省の調査によれば、新規高卒者で約47%、新規大卒者で約32%に達している。こうした現象は、経済的な状況や労働市場の変化なども深く関係するため、どう評価するかは難しい問題であるが、学校教育と職業生活との接続に課題があることも確かである。

第1節 学校教育と職業生活の接続の改善のための具体的方策

学校と社会及び学校間の円滑な接続を図るためのキャリア教育（望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育）を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある。キャリア教育の実施に当たっては家庭・地域と連携し、体験的な学習を重視するとともに、各学校ごとに目標を設定し、教育課程に位置付けて計画的に行う必要がある。また、その実施状況や成果について絶えず評価を行うことが重要である。

→これ以降、多くの大学で就職支援部署の名称変更やキャリア教育の取り組みが始まる

キャリアセンターと学生スタッフの歴史

① 社会背景の変化

- 雇用形態の変化
- 若者の勤労観、職業観の未熟さの表面化

② 多くの大学が 進路・就職支援体制を強化



2004年9月 キャリアセンター誕生



学生一人ひとりの大学生活と卒業後の未来を結び付ける橋渡しを行う

CSS・RSSが誕生

アジェンダ2

1. ピア・サポートチーム結成の経緯・歴史

2. キャリア支援全体の中でのピア・サポートチームの位置づけ

3. CSS（キャリアサポートスタッフ）とRSS（リクルートサポートスタッフ）の役割の違いや、具体的な取り組み

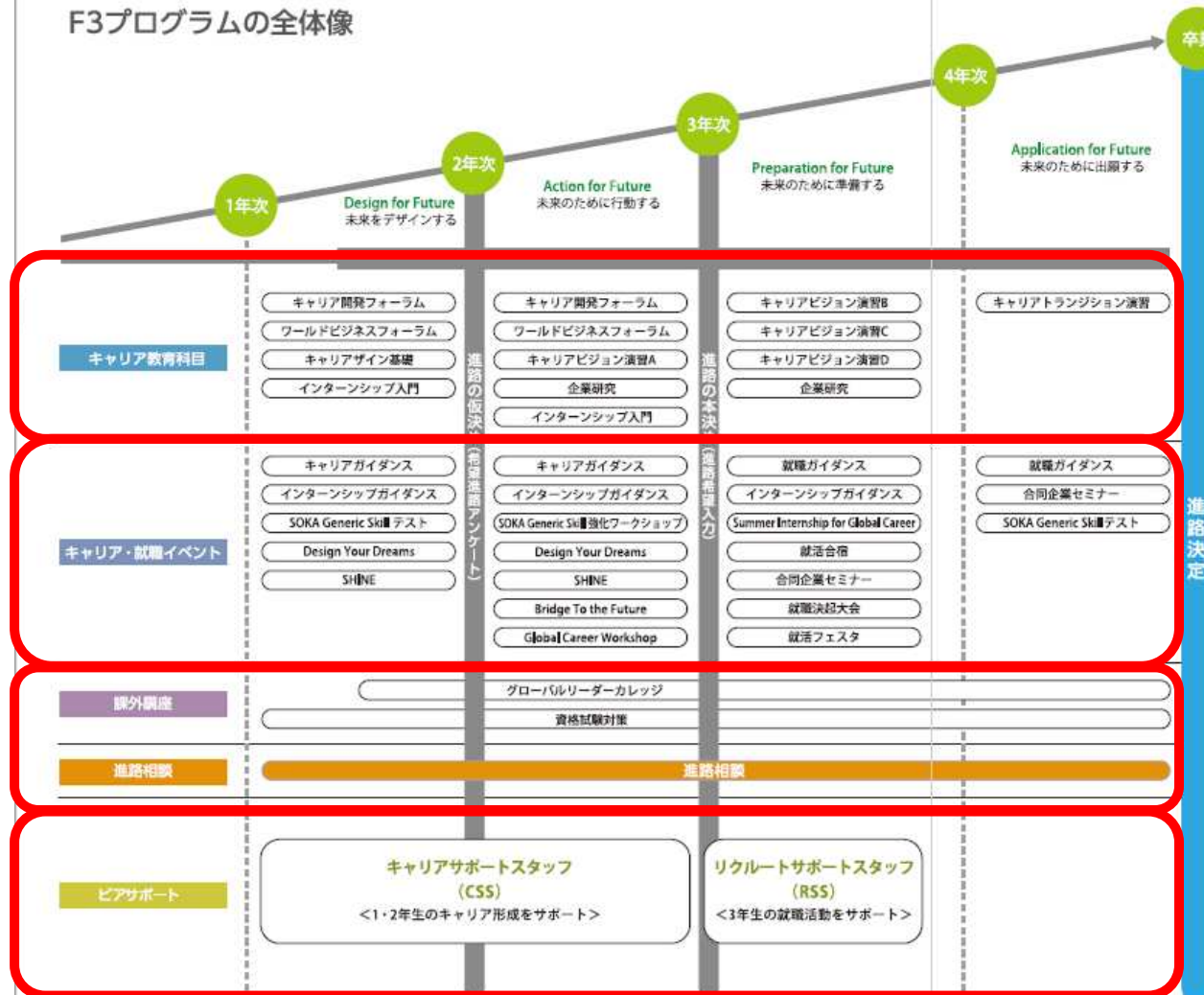
4. 卒業後の大学への関わり

5. 効果や課題 ・今後の展望

キャリアの取り組みの中での位置づけ

創価大学のキャリア教育スキーム

F3プログラムの全体像



SOKA Generic Skill

学生が卒業後、「自らの素質を向上させ、社会的・職業的自立を図るために必要な能力」のことを「SOKA Generic Skill」といい、創価大学では10の力を定義しています。

- 01 論理的思考力**
複眼的な視点から論理的に思考を展開する力
- 02 言語表現力**
日本語及び外国語を用いて、正確な文章を書き、話す力
- 03 数量的分析力**
数值的・統計的なデータを正確に把握し、分析する力
- 04 対人基礎力**
目標に向けて他者と協力的に仕事を進める力
- 05 討議推進力**
世界の多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力
- 06 自己育成力**
自らの行動を律し、理想とする自己に近づいていく力
- 07 課題設定力**
客観的に情報を収集し、本質的な課題を設定する力
- 08 目標達成力**
自らの計画や目標を、具体的に実現していく力
- 09 創造的思考力**
既存概念にとらわれず、独創的に考える力
- 10 環境変革力**
自己の成長を通して、環境を価値的に変革していく力

SOKA Generic Skill テスト

学内外の様々な活動を通して、「SOKA Generic Skill」の強化を目指します。1年次に「SOKA Generic Skill テスト」を実施し、その結果をもとに2年次では「SOKA Generic Skill」を強化するためのプランを考え、4年次に再度「SOKA Generic Skill テスト」を実施し、4年間の成長を確認しています。

1年次からのキャリア 教育・就職支援で夢の 実現をサポート

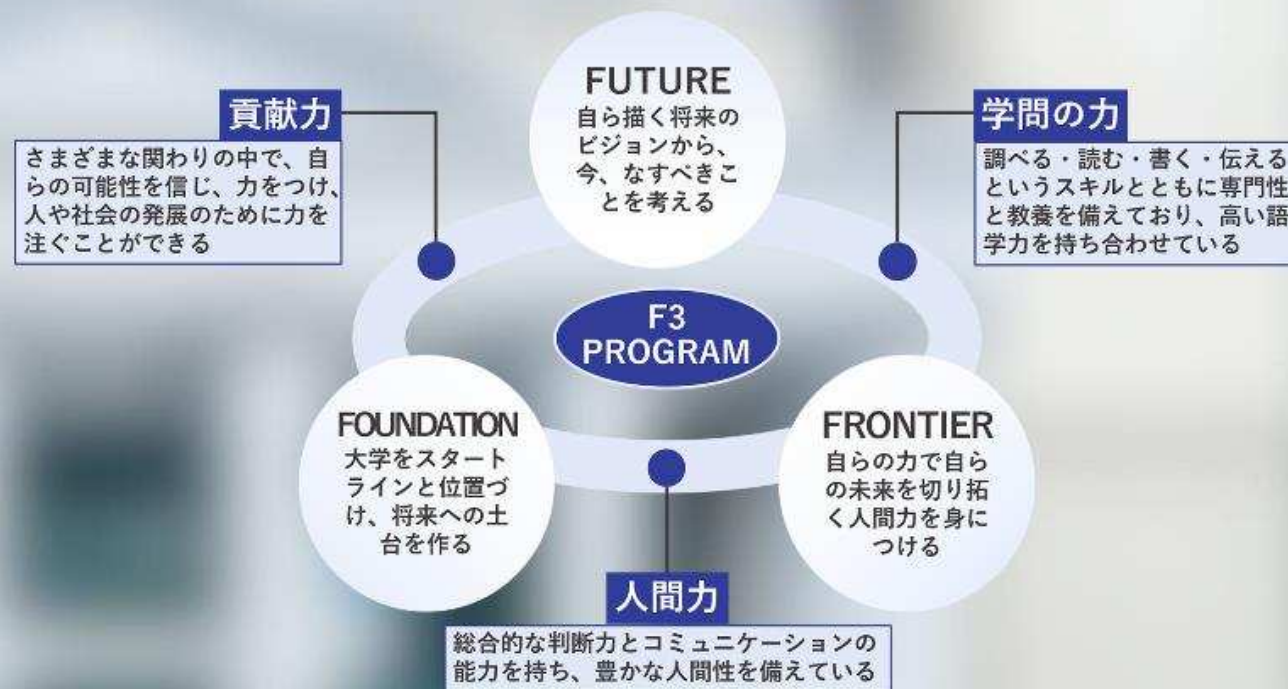
F3プログラムでは学生一人ひとりが、

自分の未来を (Self-Future)

自分の力で切り拓く力をつけ (Self-Frontier)

自身の基盤を築く (Self-Foundation)

ことを目的としています。



キャリアセンターの学生スタッフ

RSS

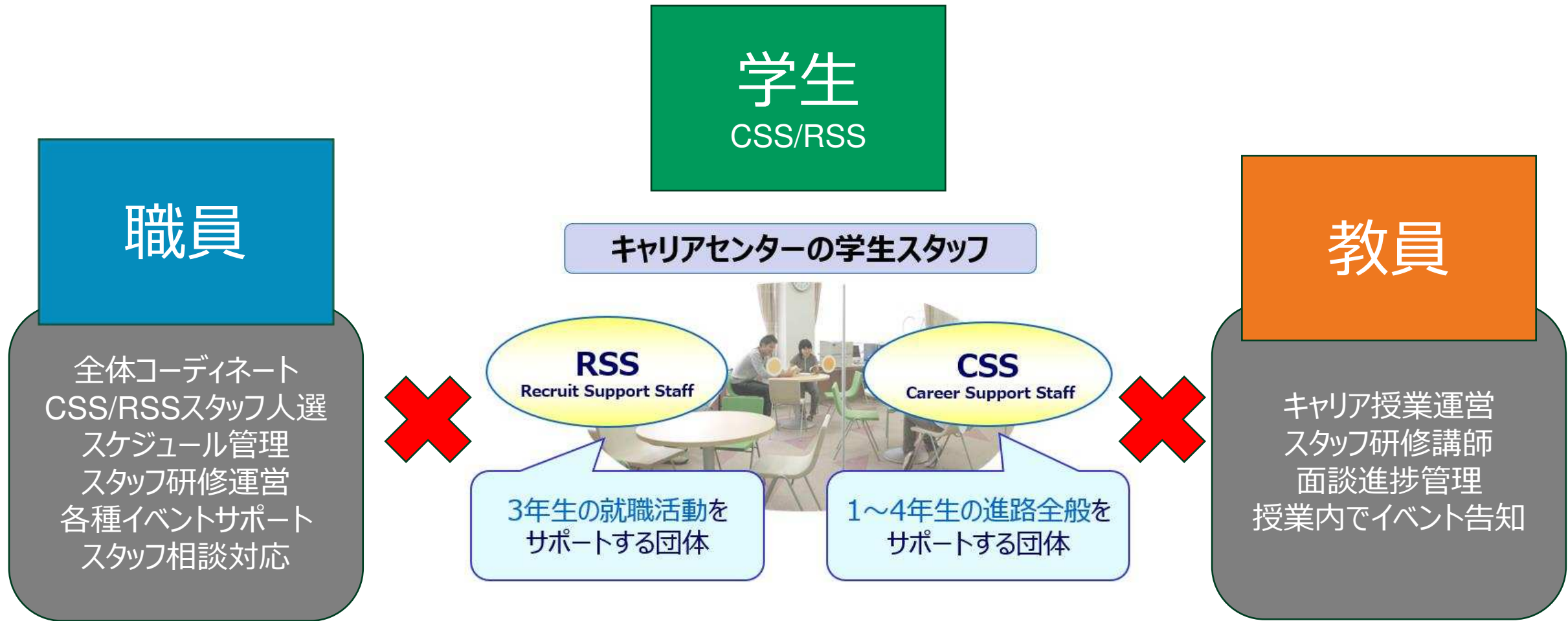
Recruit Support Staff

3年生の就職活動を
サポートする団体

CSS

Career Support Staff

1～4年生の進路全般を
サポートする団体



アジェンダ3

1. ピア・サポートチーム結成の経緯・歴史

2. キャリア支援全体の中でのピア・サポートチームの位置づけ

3. CSS（キャリアサポートスタッフ）とRSS（リクルートサポートスタッフ）の役割の違いや、具体的な取り組み

4. 卒業後の大学への関わり

5. 効果や課題 ・今後の展望

ピアサポートが目指すもの

CSSスピリッツ

わたしたちCSSは、1・2年生の身近な存在として、
相手の可能性を引き出し、キャリアプランを考える機会を提供します

CSSスピリッツ

CSSはキャリアサポート課内にある“**学生職員**”大学の発展に貢献をするとの情熱を燃やしている。また、**学生主体でありながらも、教職学一体で大学建設を行う**。創価大学への感謝の思いで活動する。母校を愛し、後輩のために貢献奉仕する

取り組む姿勢

人に対しては謙虚に人の意見は柔軟に取り入れ、仕事には自主性を大切にする。分からないままにするのではなく求道心、学ぶ姿勢を持つ。現状に満足せず、常に問題意識をもつ

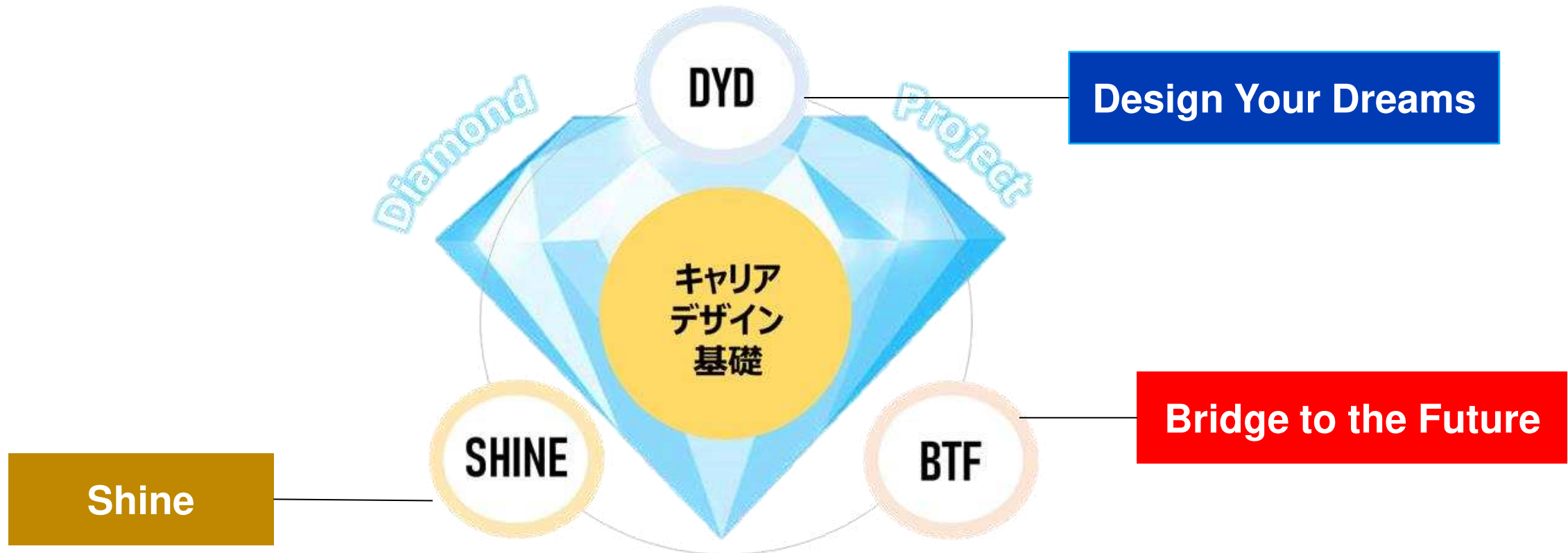
成果へのこだわり

結論のない議論なし。形に残すこと、かつスピードを重視する。そのためにチームワークをもっとも大切にする。チーム力、リカバリー能力を生かした成果を出す

取り組み概要 ダイヤモンドプロジェクト

ダイヤモンドプロジェクトとは

キャリアデザイン基礎の授業を中心に3つのイベントで構成されています



取り組み概要 RSS20期の取り組み

キャリアビジョン I (以下CV I)

履修生一人ひとりの状況に
合わせた個別サポート

RVM

10～12月



全創大就活生

創大生として就活することの
意義を考える

就職決起大会

12月



創価大学の集勝を体現する
一人も取りこぼさないサポート

就活フェスタ 集勝大作戦

1月末・春休み



RSS内での活動

全体会・トレーニング

(就活生に提供できる技術を向上させる)

8月末～

ピアサポートが目指すもの

Vision 2030年ビジョンに向けて

2030

2004

CSS・RSS結成
第二の草創期

2021

創立50周年

世界のリーダー

地域のリーダー

女性のリーダー



大学のグランドデザインと取り組みの関係

価値創造を実践する「世界市民」を育む大学を目指し策定された2030年グランドデザイン
キャリア基礎授業は1年生に対して、世界市民教育の土壌を形成することで貢献していく事が可能

Grand Design2021-2030

2022年度達成度

キャリア基礎授業
貢献可能範囲

どのように貢献が可能か

教育

世界市民教育の体系化
世界市民教育の成果の可視化
世界市民教育のネットワーク形成
2030年を展望する新たな教育プログラム

A

C

A

A

研究

~~~~~

SDG s

SDG s の推進  
国連機関等の諸機関との連携  
地域や社会との連携

A

B

C

Diversit  
y

グローバル化の推進  
スーパーグローバル大学創成支援事業の継続・発展  
男女共同参画の取り組み  
社会人等の受け入れ推進

A

A

B

C

経営基盤  
の構築

~~~~~  
~~~~~

キャリア教育を通じた  
世界市民への土壌形成が  
可能

留学希望者数の増加に  
よるグローバル化の推進

### 大学側の制度や環境作り

1 世界市民教育の  
体系化

2 世界市民教育の  
成果の可視化

4 2030年を展望する  
新たな教育プログラム

3 世界市民教育の  
ネットワーク形成

### キャリア基礎授業

学生視点での、世界市民教育への興味関心、  
学生の世界市民への土壌形成で貢献ができる。

創価大学HP グランドデザインより

達成度 A：達成 B：一部達成 C：未達成

# 取り組み概要 キャリアデザイン基礎・CDM

1 取り組み概要

## 1. 取り組み概要 キャリアデザイン基礎

### 授業概要

- 履修期間：1年次秋学期
- 受講人数（2023年度）：**404** 名

### CDM

全404名の受講生に対し、**1時間×2回**のキャリア面談を実施

#### 第1回

- 自己理解の促進
- 直近の挑戦項目の設定
- なりたい自分像の深堀り

自己理解の促進満足度

**95.8%** (N = 383)

#### 第2回

- 卒業までの挑戦計画表の作成

挑戦計画表の促進満足度

**94.8%** (N = 325)



# 取り組み概要 キャリアビジョン演習・RVM

1 取り組み概要

## 1. 取り組み概要 キャリアビジョン演習D

### 授業概要

- 履修期間：3年次秋学期

- 受講人数（2023年度）：**355** 名

全3回平均満足度**95%以上**を達成

### RVM

全355名の受講生に対し、**1時間×3回**のキャリア面談を実施



#### 第1回

10/中旬-11/中旬

- 自己紹介
- 夏ISの振り返り
- 秋冬ISの応募戦略
- ES進捗状況の確認

#### 第2回

11/中旬-12/初旬

- ES進捗状況の確認
- **秋冬IS**のエントリー
- リストの作成

#### 第3回

12/初旬-12/下旬

- **模擬面接**
- ES進捗状況の確認

# 本日のアジェンダ

1. ピア・サポートチーム結成の経緯・歴史

2. キャリア支援全体の中でのピア・サポートチームの位置づけ

3. CSS（キャリアサポートスタッフ）とRSS（リクルートサポートスタッフ）の役割の違いや、具体的な取り組み

**4. 卒業後の大学への関わり**

5. 効果や課題 ・今後の展望

# 卒業生に協力いただく主要な機会

## イベント関係

- 卒業生懇談会「Design Your Dreams」（1・2年生対象）
- 学内ビジネスコンテスト「SHINE」（1・2年生対象）
- 1Day就業体験イベント「Bridge to the Future」（2年生対象）
- 就活フェスタ（就活3・4年生対象）
- 就活合宿（就活3・4年生対象）
- GLOBAL LEADER COLLEGE（1・2年生対象：課外講座）



## キャリア授業科目

- キャリア開発フォーラム（1・2年生対象：春学期）
- ワールドビジネスフォーラム（1・2年生対象：春学期）

## その他

- キャンパスガイド卒業生紹介ページ
- その他各種媒体の卒業生紹介

卒業生が高い熱量で支援に協力、関わってくれており、ピアサポートで培われた自発性や貢献意欲などが影響していると思われる

# 本日のアジェンダ



1. ピア・サポートチーム結成の経緯・歴史

2. キャリア支援全体の中でのピア・サポートチームの位置づけ

3. CSS（キャリアサポートスタッフ）とRSS（リクルートサポートスタッフ）の役割の違いや、具体的な取り組み

4. 卒業後の大学への関わり

**5. 効果や課題 ・今後の展望**

# 就職率と質の変化

## 創価大学の就職率と就職業界内訳

2023年度卒業生(2024年5月1日現在)

**就職率 97.6%** (2023年度卒業生)

就職率=就職決定者数(企業・公務員・教員)÷就職希望者数

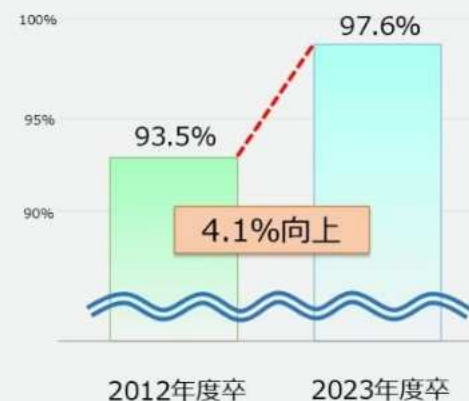


(注):「学術研究、専門・技術サービス業」の主な例:コンサルタント業、土木建築サービス業

広告業、公認会計士・税理士事務所、など

(注):「複合サービス事業」の主な例:郵便局、協同組合など

**就職率の変遷**



**2024年有名企業400社  
実就職率ランキング**  
～3年連続で100位以内にランクイン～

# QS世界大学ランキングに初ランクイン（2025年6月）



QS World University Rankings 2025: Top global universities

Discover the world's best universities with the QS World University Rankings 2025.

This year's ranking is the largest ever, featuring over 1,500 universities across 105 higher education systems....  
[Read more](#)

Register for **free** site membership to access direct university comparisons and more [Register today!](#)

In partnership with  
**ELSEVIER**

QS WORLD UNIVERSITY RANKINGS 2025



速報値だが**QS世界大学ランキング**に本学が初めてランクイン（1400+位）した。  
国内では本学を含め47大学がランクインしている状況にある。  
当ランキングは世界中の研究者からの評価、企業からの評価、論文の引用数などの評価基準があり、企業から一定程度評価されたことが、今回の結果につながった要素の一つとして挙げられる。

## <My就活ストーリー>

My 就活 Story



就職活動を終えた先輩たちの体験談です。  
(要ユーザ認証)

## <就活受験レポート>

就活受験レポート



学生が企業の採用試験の内容をレポートしています。  
(要ユーザ認証)

## 取り組みの効果

### ① 就職率や質の向上

→設置当初と比較して、就職率、質ともに改善。

### ② スタッフ人材育成のサイクルが自然に回る

→CSS・RSSに影響を受けた後輩が次代を担う

### ③ 就職活動および卒業生情報の蓄積、更新

→連携が取れる卒業生のリストが高い精度で整っている

### ④ 2030年ビジョンの達成に向けた自発的な取り組み

→学生自らが定めた目標が代々継承され、取り組みが続いている

## 今後の課題

### ① 学生の多忙化、学内組織に所属する学生の減少

→CSS・RSS志望者が減少し、スタッフ確保が徐々に難化

### ② カリキュラム改訂により、キャリア授業を取れない学生の増加

→ CSS・RSSから直接支援（面談）を受ける学生の減少

### ③ 受講学生の多様化、面談に求められるレベルの難化

→受講生面談等の質向上と多様化に伴う施策の対応

### ④ 2030年ビジョンの次の目標設定

→今後の取り組みの修正や新たな目標設定が必要



SOKA University